

■立形研削盤、更なる進化

●新製品発表「CVG-9」、「PGV-2」

2014年10月20日に当社主力製品であるNVGIIシリーズの機能を更に高めた中・大型の立形複合研削盤「CVG-9」並びに、量産部品の加工に適した高生産型立形研削盤「PGV-2」の2機種を発表いたしました。

新製品のコンセプトは「非研削時間の大幅な短縮による、生産性の向上」。部品の『加工』と部品の交換や芯だし作業等の『段取り』を同時に行うことを可能にするシステムを導入し、非研削時間(部品の加工以外の時間)を短縮させることで、生産性を飛躍的に向上させました。

CVGについては、今後、加工する部品のサイズに合わせ、ラインナップを拡充していきます。

この2機種を新たに市場に投入することで、お客様の研削加工工程に革新を起こし、世界の製造業の更なる成長に貢献してまいります。



CVG-9

立形複合研削盤

航空機・建設機械・産業機械・工作機械等
中・大型部品の加工向け

PGV-2

高生産型立形研削盤

自動車部品等
小型量産部品の加工向け

●JIMTOF2014(日本国際工作機械見本市)

2014年10月30日～11月4日の6日間、東京ビッグサイトに於いて世界最大級の展示会であるJIMTOF2014が開催され、当社は新製品の「CVG-9」及び「PGV-2」を含む全3機種を展覧、当社ブースは多くのご来場者でにぎわいを見せておりました。

明確なコンセプトと機能をもつ新製品は、研削盤業界でひととき注目を集め、国内外のお客様から受注をいただきました。

JIMTOF2014は、成果としての受注や引合だけでなく、今後の技術開発や事業展開につながる貴重なご意見やご要望をいただき、大変実りの多い展示会となりました。

今後も太陽工機は、お客様の多様なニーズに確かな答えを提供し続けてまいります。



(2014年9月30日現在)

●設立年月日	1986年3月14日
●資本金	7億32万8,200円
●発行可能株式総数	9,000,000株
●発行済株式の総数	2,978,200株
●本社所在地	新潟県長岡市西陵町221番35
●従業員	169名
●主な事業内容	工作機械(各種研削盤)の開発・製造及び販売

●ネットワーク

国内拠点	本社・工場(長岡)	海外駐在拠点	中国(北京)
	東部営業所(さいたま)		フランス(パリ)
	中部営業所(名古屋)		アメリカ(シカゴ)
	西部営業所(大阪)		

●株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 TEL 0120-782-031(通話料無料)
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)

電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.taiyokoki.com/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

公告の方法

ホームページのご案内

当社の詳しい情報はホームページよりご覧いただけます。



<http://www.taiyokoki.com/>

第30期(中間期)

Business report

2014年4月1日～2014年9月30日

株主の皆様へ



株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社における第30期中間期(2014年4月1日から2014年9月30日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ここにご報告を申し上げます。よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月

代表取締役社長 渡辺 登

当中間期の営業概況

当第2四半期累計期間の工作機械業界は、日本工作機械工業会が発表した工作機械受注実績(2014年4月1日から9月30日まで)が前年同期比で35.4%増加し、回復基調は鮮明になってまいりました。

こうした状況の中、当社の受注も着実に増加してきております。特に国内においては、自動車関連企業からの複数台受注を多数獲得し、また一般産業機械関連企業を始め、工作機械関連企業、建設機械企業といった幅広いユーザーからの需要の取り込みに成功しております。

営業施策としては、本社工場を利用したプライベートショーやDMG森精機主催のプライベートショー、国際見本市に参加することで、国内外のユーザー層を拡大するとともに、設備投資ニーズを積極的に掘り起こすことで、着実に受注につなげてまいりました。

製品面では、10月30日から11月4日に開催される日本国際工作機械見本市(JIMTOF2014)での新製品の発表に向け、現在の主力製品であるNVGIIシリーズの機能を更に向上させた中・大型の立形複合研削盤「CVG-9」及び自動車部品の量産加工をターゲットとした高生産型の小型立形研削盤「PGV-2」の開発に注力いたしました。

当第2四半期累計期間の受注高は3,147,319千円(前年同期比37.9%増)となりました。

売上高につきましては、2,386,794千円(前年同期比16.4%増)となりました。

損益につきましては、営業利益161,157千円(前年同期比235.7%増)、経常利益146,513千円(前年同期比467.0%増)、四半期純利益88,794千円(前年同期比1,108.6%増)となりました。

当中間期の業績

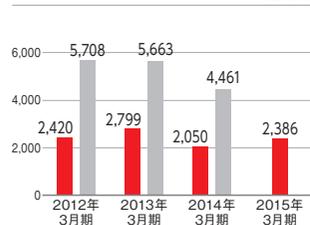
売上高
23億86百万円
(前年同期比 16.4%増)

営業利益
1億61百万円
(前年同期比 235.7%増)

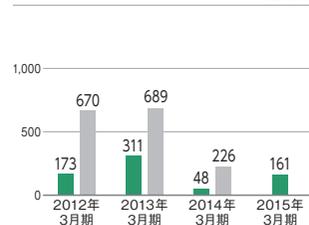
経常利益
1億46百万円
(前年同期比 467.0%増)

四半期純利益
88百万円
(前年同期比 1,108.6%増)

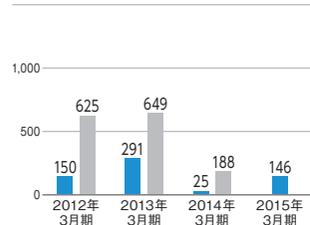
売上高 (百万円)



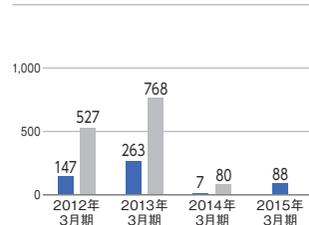
営業利益 (百万円)



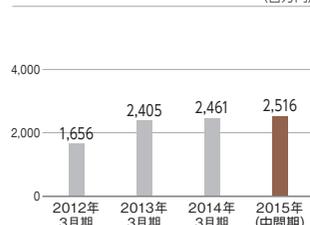
経常利益 (百万円)



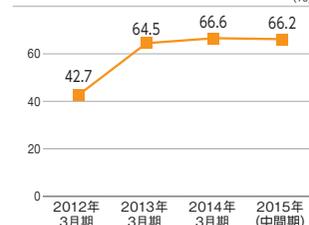
純利益 (百万円)



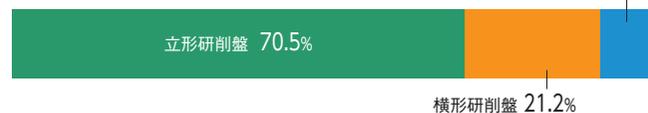
純資産 (百万円)



自己資本比率 (%)



品目別売上高構成比



財務諸表

(注)金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前期末 2014年3月31日現在	当中間期末 2014年9月30日現在
【資産の部】		
流動資産	2,399,323	2,557,705
固定資産	1,277,974	1,245,392
(有形固定資産)	(1,221,417)	(1,182,796)
(無形固定資産)	(4,905)	(4,193)
(投資その他の資産)	(51,650)	(58,402)
資産合計	3,677,297	3,803,098
【負債の部】		
流動負債	461,689	565,371
固定負債	753,720	721,256
負債合計	1,215,410	1,286,628
【純資産の部】		
株主資本	2,450,695	2,516,470
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	471,970	472,960
利益剰余金	1,317,301	1,376,775
自己株式	△38,905	△33,594
新株予約権	11,192	—
純資産合計	2,461,887	2,516,470
負債純資産合計	3,677,297	3,803,098

損益計算書

(単位:千円)

科 目	前中間期 自 2013年4月 1日 至 2013年9月30日	当中間期 自 2014年4月 1日 至 2014年9月30日
売上高	2,050,612	2,386,794
売上原価	1,452,206	1,676,504
売上総利益	598,406	710,290
販売費及び一般管理費	550,402	549,132
営業利益	48,004	161,157
営業外収益	1,541	4,311
営業外費用	23,706	18,956
経常利益	25,839	146,513
特別利益	—	8,942
特別損失	—	1,549
税引前四半期純利益	25,839	153,905
法人税等合計	18,492	65,111
四半期純利益	7,347	88,794